

○事業所名	児童発達支援glee八事教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		～ 2026年1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で安全な環境を整えている	毎朝の清掃・安全点検を全員で行っている	毎月、月末に「クリーンデイ」を設定し新しい月を迎えるようにする 日頃気になっていたところをクリーンにし
2	子どもの理解をチームで考えている	行動観察・話し合い・研修を積極的に行っている	今後も、子どもの情報を共有し、話し合いを重ねていきたい
3	子どもが安心して過ごしている	子どもの発達・興味に合わせたオーダーメイドのプログラム作成をしている	「ありのままの姿」を大切にすることを意識し、できていることを伸ばし、できることを増やす立案を今後も続けていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会・ペアトレの実施ができていない	開所1年目の為、タイミング・ニーズの把握を考えているところ	具体的な内容での計画
2	安全計画・緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルなどの周知が十分ではない	マニュアル・研修・委員会の種類が多い為 まずは自分たちスタッフが把握して取り組んでいる段階	取り組みの周知
3	地域での交流	地域でのニーズや参入方法がわからない	地域の活動・部会などに積極的に参加すること

事業所名 児童発達支援glee八事教室

公表日 2026年2月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・保護者の見学用に複数利用時には、丸いテーブル・イスを配置している	・グループのクラスでは、保護者のスペースが十分と言えない
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・様々な議題で、定期的におこなっている ・ミーティングで定期的におこなっている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			開所1年目の初めての評価になる為 ・意向を受けて改善に努めたい ・今後に生かしたい	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・定期的にミーティングで話し合いをしている ・ミーティング以外にも気づいた時に共有を図っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・外部講師等(複数)に意見・助言をもらう機会を設けている ・今年度は12月に名古屋市の運営指導があり、指導内容について改善した。	・第三者外部評価は行っていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部研修の他にも、事業所内での研修が定期的にあるので、学び続けられて良い	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの趣向行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・太田式(LDT-R)で評価 ・グループのクラスでは、観察して記録する役割のスタッフが配置されている ・行動観察の様式にて子どもの興味や行動を分析	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・児発管の指導計画を基に担当者が立案、グループでの活動は、ミーティングで話し合い決めている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・各スタッフが考えたプログラムを共有できるようにシステムを作り使用している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・利用者の意向を受け個別・集団を組み合わせている ・5領域の中で工夫して計画している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・スタッフミーティングで全員で案を決めることで内容の把握、担当もルーティン化している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・支援後の振り返りやスキマ時間に共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			・まだ機会がない	・機会があれば積極的に参加したい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			・まだ機会がない	・今後整えていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			・まだ機会がない	・利用者のニーズに合わせて今後やっていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			・まだ機会がない	・利用者のニーズに合わせて今後やっていきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・まだ機会がない	・機会を設けていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・まだ機会がない	・機会があれば、やっていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・毎回の支援にフィードバックをおこない、話をする時間を設けている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・子育てサポートをフィードバックと共に おこなっている ・専門講師との相談の場を作っている	・保護者会・ペアトレを今後計画したい	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者と話す時間が設けられているので「困っていることはないですか？」など声をかけている ・話しかけやすいように、近くで声をかけていくようにしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・グループのクラスでは保護者間での交流がある	・今後、計画したい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・定期的に更新するようにしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・学生さんとの勉強会、子どもとのコミュニケーションの機会があった	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・毎月様々な想定で訓練を実施している	・利用家族の方にも周知が図れるようにしている
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・年間で計画表を作成し、研修と訓練を組み合わせて実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	※該当なし ・食事の提供はないが契約時にアレルギーの確認をして職員間で共有している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・年間の安全計画の他、毎朝の清掃時の安全点検を実施し、子どもたちの姿を思い浮かべながら安全な環境を整えている	・清掃・消毒・安全点検を継続していきま
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・利用家族の方にも、しっかりと周知が図れるようにしたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・業務終了時の振り返りで共有・検討し更にミーティングでもう一度、話し合うようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・定期的に研修の機会を設けている ・すぐに声をかけ合える風通しの良い職場づくり。無理なく交代できるようにしてい	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時に説明 ※今のところ該当なし		